

問 農業者担い手育成支援事業とは。
答 3名以上の各種農業者の団体が視察へ行く費用を補助する。海外視察も補助対象となる。

問 サンテパルクたはらのサンテドームは雨天でも利用できるが、交流人口を増やす取り組みとして、屋根だけでも拡張する考えは。
答 施設建設は考えていない。イベント開催などによるソフト面で、集客できると考えている。

問 24時間営業のコンビニ(26店)に設置するAED(自動体外式除細動器)は、いつごろから使用できるのか。
答 6月までに設置し、7月から運用を開始したい。

問 ふれあい相談センター(結婚相談事業)の会員登録者数は。
答 男性201名、女性53名の計254名(平成27年2月末)。

問 直近3年間の成婚・相談実績は。
答 成婚は、平成24年度9組、25年度17組、26年度2月末現在16組。相談は平成24年度2072件、25年

度1802件、26年度2月末現在1906件。

討
論

反対

(河邊正男議員) 成熟社会は福祉で国づくり、福祉産業をつくることが大切だが、医療と介護、子ども子育て支援事業における市の姿勢はこれに欠けている。学校の再編など、子どもは地域で育て、少人数学校の方で進めるべきである。

賛成

(長神隆士議員) 今年度予算は、地方創生に連動した地域の自立に向けた積極的予算、広域連携による地域づくりなどの基盤整備が大きく推進されることを期待する。



議案第32号
 平成27年度田原市国民健康保険特別会計予算

問 短期保険証発行の運用は。

答 保険証の更新月に、前年度以前に賦課された保険税の滞納額が10万円以上ある世帯で、個別訪問、文書の勧告などによる納付に応じない世帯に対して、発行している。

討
論

反対

(河邊正男議員) 高い国保税、子どもへの短期保険証発行など社会保障の観点が見られない。

賛成

(小川貴夫議員) 健全な医療制度維持のための予算が、歳入・歳出とも適正に予算化されている。

議案第34号
 平成27年度田原市農業集落排水事業特別会計予算

問 中山地区の工事の進捗状況は。

答 平成30年度の完了予定で、28年4月から一部供用開始を予定している。国・県の補助金の状況によっては前倒しで整備できる。

問 農業集落排水事業は定量制による料金徴収であるが、今後、公共下水道事業と同様に使用量に比例して料金徴収を行う従量制にする考えは。

答 中山地区には、従量制の考えを説明したが、汚泥処理を地元が行うか、市が行うかを踏まえ、検討したい。

議案第36号
 平成27年度田原市介護保険特別会計予算

討
論

反対

(河邊正男議員) 介護保険料が引き上げられ、サービスは低下する。安心した老後、これが何よりも田原市のやるべき仕事である。

賛成

(小川貴夫議員) 介護保険法の下で介護サービス維持のための十分な配慮がなされた円滑な運営に寄与する予算であり賛成する。